

## お 泉 水

令和3年3月

## 図書館トピックス

## ☑ 図書館法施行70周年記念図書館関係者表彰

図書館法施行70周年を記念し、地域における図書館活動等の功績者として、福井県からは、県内公共図書館からの推薦を元に当協会が推薦した橋詰力氏、津田さとみ氏の2名が文部科学大臣表彰された。

橋詰氏は元福井市立図書館長で、市立図書館や市立みどり図書館の開設準備、またその後の図書館活動にも尽力された。

津田氏は、おばま児童文学会「風夢」の代表として活躍されており、図書館での読み聞かせや、県教育委員在任時には子どもの読書活動推進計画の策定にも貢献された。

## ☑ 授業目的補償金制度が令和3年4月から運用開始

平成30年の著作権法改正により、ICTを活用した教育を推進するため、補償金を一括支払うことにより、授業等で著作物をインターネット送信することが無許諾で可能となった。新型コロナウイルス感染症流行のため、令和2年度に限って特例的に補償金が無償となっていたが、2年12月に補償金の料金体系が認可され、3年4月からいよいよ本格運用が始まる。支払い先は、指定管理団体の一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）となる。

公共図書館は社会教育施設にあたるため、図書館主催の公開講座等で著作物を送信する場合、種類や回数にかかわらず1講座につき300円を支払う必要がある。学校は種別ごとに回数無制限の年間包括料金が定められ、生徒・学生1人当たりの料金は大学が720円、高校が420円となった。これらの金額に対象者数を乗じた額を支払うことになる。

詳しくは文化庁ホームページで確認していただきたい。

## ☑ 著作権法の一部改正法案(デジタル・ネットワーク対応)

著作権法において、図書館関係の権利制限規定については従来から課題が指摘されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、図書館休館等のためインターネットを通じた図書館資料へのアクセスについてニーズが顕在化した。令和2年12月に文化審議会著作権分科会法制度小委員会において「図書館関係の権利制限規定の見直し(デジタル・ネットワーク対応)に関する中間まとめ」が取りまとめられ、パブリックコメントが実施された。全国公共図書館協議会は各都道府県立図書館を通じて意見聴取を行い、各館からの回答を取りまとめ、意見書として提出した。福井県からは、地域の図書館が実施するには人

的・物的管理体制を構築するための財政措置が不可欠等の意見を提出した。3年2月にはパブリックコメントを踏まえた最終報告書が提出され、3月5日に「著作権法の一部を改正する法律案」が閣議決定され、同日、第204回通常国会に提出された。

今回の法改正のポイントは2点ある。1点目は、国立図書館が絶版等資料を事前登録した利用者に直接送信できるようにすることである(著作権法第31条3項関係)。これまでは公共・大学図書館等のみ送信していたが、個人に対して直接送信できるようになる。「絶版等資料」については、絶版か否かにかかわらず、現に一般に入手することが困難と言えるかどうかによって判断される。

2点目は、公共図書館や大学図書館等の所蔵資料の一部分について、補償金の支払いによりメール等で送信できるようにすることである(著作権法第31条1項関係)。なお、権利者保護のための要件設定として、正規の電子出版等の市場を阻止しないこと、データの流出防止措置、また、実施できる図書館の要件として、責任者の配置、研修の実施等が挙げられている。

今後の予定として、法案成立後、図書館等による公衆送信については2年程度での施行を目指し、文化庁主導の下に図書館関係者、権利者、出版社、中立な第三者からなる協議体が設置され、運用方法やガイドラインの整備等が行われる。国立国会図書館における送信サービスについては、4年4月のサービス開始に向けて国会の審議と並行して検討が進められる予定である。

## ☑ 福井県教育振興基本計画、第3次福井県子どもの読書活動推進計画(令和2年3月)を推進

県は、令和2年3月に「第3期福井県教育振興基本計画(令和2~6年度)」を策定した。「生涯にわたる学びの支援」の中で、県立図書館の機能充実として、資料・情報の充実や専門性の高い図書館司書の育成、郷土資料のデジタル化推進等を掲げており、図書館では目標を設定し取組みを進めている。

また、同時期に「第3次福井県子どもの読書活動推進計画」も策定された。子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくりを基本目標に、「適切な読書指導ができる人づくり」「本との新たな出会いづくり」「子どもの読書に関わる情報の提供・共有」を基本方針とし、家庭、地域、学校ごとに具体的な取組みを掲げている。今年度、図書館では、ジュニア司書養成講座の実施や子どもの成長段階に応じた推奨図書コーナーの設置を行った。



## 特集 新型コロナ対策

### ☑ コロナ禍での危機管理と業務継続(福井市)

福井市の図書館では、学校の一斉臨時休業に伴い、閲覧席の間引き、図書館行事の中止などの対応策を講じたが、福井県の「週末の外出自粛」、「平日夜間・週末の外出自粛要請」により、3月28日、29日と翌月4月4日から5月17日を全館臨時休館した。臨時休館中も、館内の入念な清掃、図書の消毒等はもちろんのこと、閲覧席の配置や窓口カウンターの感染防止対策、図書館サービス内容など、図書館再開後に想定される運営上の多くの課題を検討した。

臨時休館の長期化に伴い、予約取り置き図書の貸出を5月7日から始めた。図書館本体は臨時休館中であるため、感染防止策を十分徹底した上で図書館業務再開を議論した結果、移動図書館車を保有している福井市立図書館、みどり図書館は移動図書館車を駐車場に設置、車内に予約図書を積載し貸出処理を行う臨時窓口として図書を受け渡す「ドライブスルー」方式にて予約図書の貸出を開始した(他3館は各館玄関口で対応)。新聞等では「ドライブスルー」方式と報道され、5月17日までの実施期間中の福井市5館合計で2,382人、9,011冊の利用があった。



「ドライブスルー」方式は、いわゆるロードサイドショップ店舗など車中心の「ドライブスルー」とはニュアンスが異なり、写真の通り徒歩や自転車での利用も可能で、自動車での通り抜けする受渡しの流れと、徒歩や自転車での受け渡しの流れの2つの対応窓口で実施し、危機的状況下での業務再開・業務継続の第一歩を踏み出した。

その後、5月18日からは、新聞・雑誌の閲覧や参考図書室等の利用停止など、一部制限付きでの開館を行い、6月1日にはほぼ平常時間での開館となった。返却図書の消毒ほか、随時、閲覧用の椅子・机、雑誌カバー、新聞の綴じ具などのアルコール消毒の作業が加わった。入館に際して、発熱や咳等の風邪症状のみられる方の入館回避・マスク着用、出入り口等での手指のアルコール消毒要請は言うまでもない。

すべての業務が停滞し方向転換を余儀なくされることばかりであったが、引き続き貸出返却カウンターのビニールカーテンからアクリル板に置き換えなど、館内の清



潔・アメニティ確保に努めた。また、運営上の方針においても、図書館行事開催にあたってのガイドライン作成(7月)、予約図書の郵送貸出サービスの実施要項を策定し実施(8月)した。さらに、9月の補正予算により、市立、みどり、桜木の3館に福井県内初の図書消毒機が設置され、12月18日から供用開始している。現時点でできる最大限の取り組みであるが、市民の安心・安全な社会教育の場として新しい時代に向けて一步一步着実に歩み進めていきたい。

(福井市立図書館 佐藤秀樹)

### ☑ 福井県立大学附属図書館の取組

本学には新型コロナウイルス感染防止対策の対応を協議検討する「チーム会議」、決定機関である「対策会議」が設置されている(令和2年2月～)。図書館での対応はここでの決定事項に沿って実施している。

大学の対応指針では、レベルを4段階に分けて対応を定めている。図書館もこれにあわせ、レベル1【平常時の活動】では通常どおり利用可、レベル2【注意対応】では事前申込制、レベル3【警戒対応】では原則利用不可、レベル4【構内活動の禁止】では休館、というように対応している。

令和2年度は前期(4～9月)授業が遠隔授業になった。キャンパスに来られない学生の支援が急務となるなか、図書館で始めたサービスが「郵送による貸出サービス」(4/23～)と「論文等文献複写物の郵送サービス」(5/8～)である。「郵送による貸出サービス」は、学習・研究のため、学生が希望した図書を大学が送料を負担し自宅に郵送するサービスである。発送には全国一律520円で送付できる「レターパックプラス」を使用し、返送用の「レターパックプラス」も同封する。サービスを大学のホームページで広報すると、すぐに学生から申込のメールが届き、サービスの必要性を実感することができた。

このサービスは現在も継続しており、令和3年2月末現在の実績は「郵送による貸出サービス」が94件219冊、「論文等文献複写物の郵送サービス」が101件となっている。令和3年1月の大雪時にもこのサービスが活用されることとなった。

例年、新入生には、4月の情報基礎演習の授業時に図書館資料の検索方法を説明し、その場で実践してもらい、その後、図書館内を案内していた。今年度はその機会がなく残念に思っていたが、担当教員の発案で資料の検索方法と図書館案内の動画を遠隔授業用のページに掲載することになった。図書館は、案内とナレーションを担当し、撮影・編集は教員が行った。今後も教員と協力し、図書館の利用、資料の活用を学生に促したい。

後期(10～3月)には対面授業が実施された。閲覧席数の調整、飛沫防止パネルの設置、サーマルカメラの設置、消毒液・除菌シートの常設等の整備を行い、安心して図書館を利用できるよう努めている。

(福井県立大学附属図書館 杉田由記)



各館の主なコロナ対策は以下の通り。

**【臨時休館】**

**公共図書館**：県立(3/28～29, 4/4～5/10)、福井市(3/28～29, 4/4～5/17)、敦賀市(4/23～5/11)、小浜市(4/4～5/10)、大野市(4/25～5/10)、勝山市(4/25～5/10)、鯖江市(4/11～5/17)、あわら市(4/25～5/11)、越前市(4/11～5/18)、坂井市(4/11～5/10)、永平寺町(4/11～5/10)、池田町(4/5～5/10)、南越前町(4/14～5/11)、越前町(4/25～5/17※宮崎・越前分館は4/4～24の土・日も休館)越前町立宮崎・越前(4/4～5/6)、美浜町(4/6～5/11)、高浜町(4/8～5/19)、おおい町(4/17～5/20)、若狭町(4/6～5/10)

**大学等図書館**：福井県立(4/25～5/6)、福井工業(4/25～5/18)、仁愛(2/29～3/31, 4/25～5/31) 敦賀市立看護(4/4～5/9)、仁愛女子短期(2/29)、福井工業高等専門(3/7～6/3)

**【臨時休館中の予約本の貸出】**

ドライブスルー方式：福井市(※市立、みどり以外は窓口)、鯖江市、美浜町(窓口も実施)

窓口・玄関等：越前市、越前町、高浜町、おおい町、若狭町

**【郵送貸出】**

福井市図書館、福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、仁愛女子短期大学

**【本の消毒機】**

福井市(12/18～)、小浜市(3/25～)

## 県内図書館界の動き

### ◇福井県図書館協会

6月6日	令和2年度総会(書面開催)
8月	図書館法施行70周年記念図書館関係者表彰候補者選考
10月	令和2年度子供の読書活動優秀実践図書館・団体(者)文部科学大臣表彰候補者選考
10月1日	第1回福井県図書館関係職員研修会 テーマ：「読書バリアフリー」 講師：野口武悟氏(専修大学文学部教授) 大久保明子氏(あかし市民図書館長) ※講師はオンライン講義
11月18日	第2回福井県図書館関係職員研修会 テーマ：「サインと配架を工夫する」 講師：中川卓美氏(元愛荘町立図書館職員)
3月	協会報「お泉水」No. 51発行

### ◇福井県学校図書館協議会

5月12日	第1回福井県学校図書館協議会理事会(書面)
6月19日	第1回福井県学校図書館協議会推進委員会(書面)
7月8日	S L B A2020年度第1期申込締切
11月25日	S L B A2020年度第2期申込締切
2月24日	S L B A2020年度第3期申込締切
3月1日	『福井県の学校図書館 第66号』発刊
4月～9月	第46回福井県小学生読書感想文コンクール(福井新聞社主催)
6月～10月	第66回青少年読書感想文全国コンクール(全国S L A・毎日新聞社主催)
9月～1月	第32回読書感想画中央コンクール(全国S L A・毎日新聞社主催)

(福井県学校図書館協議会事務局 高倉泰希)

### ◇各図書館

5月11日	複写料金の電子マネー決済開始	県立図書館
7月1日	マイナンバーカードを図書館利用カードとして利用できるサービス開始	県立図書館、若狭図書館学習センター
7月1日	ルーラル電子図書館利用開始	池田町立図書館
7月8日～11月30日	屋根融雪設備の改修	勝山市立図書館
9月～11月	駐車場拡張整備	大野市図書館
9月14日～11月26日	空調設備等改修工事のため休館	鯖江市図書館
9月14日～11月13日	出張図書館	鯖江市図書館
9月17日～11月20日	青空図書館	鯖江市図書館
9月20日～10月17日	福井県ジュニア司書養成講座	県立図書館
10月3～4日	ライブラリースタイル図書館に泊まって災害を学ぶ	県立図書館
10月24日～11月14日	福井県ジュニア司書養成講座	若狭図書館学習センター
10月27日	デジタルアーカイブ福井をジャパンサーチと連携開始	県立図書館
10月31日	ジュニア司書講座	越前市中央図書館
11月11日	読書バリアフリーコーナー設置	県立図書館
12月1日	返却ボックス増設(JR福井駅、西武福井店)	福井市立図書館
3月2日	坂井市立春江図書館再開	坂井市立春江図書館
3月13日	ボランティア功労者感謝状贈呈	県立図書館



ライブラリースタイル  
(県立図書館)

### ◇令和3年度研究集会および研修会(予定)

名称	開催地	日程
全国図書館大会(Web開催)	山梨県	11月11～12日
全国公共図書館研究集会 サービス部門、総合・経営部門	九州沖縄地区	未定
全国公共図書館研究集会 児童・青少年分科会	岩手県	11月25～26日
東海北陸地区公共図書館研究集会	三重県	未定
東海北陸地区図書館地区別研修	名古屋市	12月7～10日
日本図書館協会地方講習会	岐阜県	9月17日
北陸地区公共図書館職員研修会	新潟県	9月下旬

# 県外研修参加報告

## ☑ 令和2年度東海・北陸地区図書館地区別研修

令和2年12月1日(火)から4日(金)までの4日間、三重県主催の令和2年度東海・北陸地区図書館地区別研修を受講した。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全日程を通して初のオンライン配信による実施であった。

研修内容は、初日は「これからの公共図書館」と題する基調講演。2日目は、ゲーム認定司書による「図書館とゲーム」に関する事例発表と、「読書バリアフリー法」についての講義。3日目は、「図書館とソーシャルメディアの関わり」についての講義と、広島県立図書館の事例発表を交えた「図書館における事業継続計画」。最終日は「図書館の評価指標」についての講義であった。

中でも「図書館とゲーム」について、今や全国で74館が図書館事業でボードゲームやTRPGなどを実施し、ゲームが図書館に様々な人々を呼び寄せるツールの一つとなりつつあることは、新しい視点となった。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、図書館業務をどう継続していくかという点で、広島県が導入した図書館利用が少ない世代に向けての電子書籍の貸出サービスは、今後の図書館の在り方にも影響すると思われる。動向を注視したい。

(大野市図書館 小林千晶)

## ☑ 令和2年度全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)

令和2年度全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)は、令和3年1月にインターネット配信により開催された。研究主題は、「図書館とバリアフリー—あらゆる人にかかれた図書館とは—」で、令和元年度に施行された読書バリア

フリー法が、障がいの有無に関わらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現を目指していることを踏まえて、図書館での障がい者サービス、障がい者・高齢者施設や矯正施設への支援、外国人への支援、がん情報の提供といった内容で講演や事例発表が行われた。

読書バリアフリー法では、障がい者への配慮とともに、外国人や高齢者への支援の重視がうたわれている。事例発表の中で、大阪のNPO法人が地域の外国人とともに外国語の絵本を多数紹介するイベントを開催した事例が紹介された。この中で、母語を使わない外国ルーツの子どもが、自分のルーツの言語や文化に誇りと自信を持ってなくなっていくという背景が紹介され、本が自分の母語で読めない、ということがアイデンティティの喪失にもつながるということを知った。

全ての人が等しく読書できる環境を整えるということは、単に知識や情報を行きわたらせるだけではなく、人生そのものを豊かにする力になるということを実感する研修となった。今後の館のサービスに少しずつ取り入れていければいいと感じた。

(福井県立図書館 宮川陽子)

## ☑ 令和2年度東海北陸地区公共図書館研究集会

令和2年10月16日(金)に福井県立図書館にて開催し、50名が参加した。研究主題「未来につなぐ地域資料サービス」として、蛭田廣一氏に基調講演として地域資料についての概説や小平市立図書館の事例をお話いただき、桑名市立中央図書館の地域資料の収集・活用、福井県文書館・図書館によるデジタルアーカイブ福井の公開についての取組が発表された。内容の詳細は報告書をご覧ください。

研修名	開催日	開催地	図書館名
遠隔講座「講演と新刊紹介2019年に出版された子どもの本」	6/26～7/31	大阪府※	福井市立桜木図書館 あわら市金津図書館
JUSTICE電子資料契約実務研修会	7/3	東京都※	福井県立大学附属図書館
令和2年度新任図書館長研修	9/1～4	東京都※	美浜町立図書館
第81回私立大学図書館協会研究大会	9/19	東京都※	福井工業大学図書館
令和2年度漢籍担当職員研修(初級)	10/5～6	京都府	福井大学附属図書館
令和2年度漢籍担当職員研修(中級)	11/9～13	京都府	福井大学附属図書館
第22回図書館総合展	11/4～6	神奈川県※	福井工業大学図書館
私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会第2回研究会	11/6	京都府※	福井工業大学図書館
令和2年度国際子ども図書館児童文学連続講座	11/10	東京都※	福井市立桜木図書館
読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修	11月～2月	東京都※	福井県立図書館
第106回全国図書館大会	11/20～30	和歌山県※	福井県立図書館 おおい町立大飯図書館
令和2年度東海北陸地区図書館地区別研修	12/1～4	三重県※	福井県立図書館 福井県立若狭図書学習センター 福井市立桜木図書館 大野市図書館 鯖江市図書館
国立高等専門学校図書担当職員研修会	12/17	※	福井工業高等専門学校図書館
令和2年度全国公共図書館研究集会(サービス、総合・経営部門)	1/15～31	大阪府※	福井県立図書館
サピエ「ネット責任者」研修会	1/27	東京都※	福井県立図書館
2020年度大学図書館シンポジウム 「オンライン授業における図書館の役割」	1/22	東京都※	福井大学附属図書館
令和2年度国立大学図書館協会東海北陸地区助成事業研修会 「イマドキ大学図書館のリスクマネジメント～地震・カミナリ・ウィズコロナ～」	2/12	岐阜県※	福井大学附属図書館

※はオンライン